

企画展

曳山を 文人 彩つた

令和7年

6/3^火

7/21^{祝月}

開館 ▶ 9:00 ~ 17:00
(ただし入館は16:30まで)

会場 ▶ 長浜市
曳山博物館
1階展示室

入館料 ▶ 大人 600円
小中学生 300円
*20名以上の団体は2割引
*長浜市・米原市の
小・中学生は無料



たち
| 山中
信天翁と
北村李軒



(上段) 腰襖「溪流紅葉鹿図」/ 北村李軒画 / 本町組春日山蔵
(下段) 腰襖「松蘭菊図」/ 山中信天翁書画 / 舟町組猩々丸蔵



主催 ▶ 長浜市曳山博物館 (滋賀県長浜市元浜町 14-8) 休館日 ▶ 毎週月曜日

※但、7/21(月)は開館

TEL 0749-65-3300 / FAX 0749-65-3440

MAIL museum@nagahama-hikiyama.or.jp



令和7年度企画展

曳山を彩った文人たち

— 山中信天翁と北村李軒 —

長浜曳山祭の曳山には、襖絵を中心に江戸後期から明治期に活躍した多くの書家や絵師などの文人が、その作品を残している。金工・彫刻や染織を含めて、長浜の曳山を「動く美術館」と称する所以である。

今回の展示では、2名が曳山に残した襖絵を核として、その他長浜に残した作品を紹介することで、江戸期から明治期にかけての曳山祭を育てた多彩な文化の精華を多くの方に知って頂きたい。



金地四君子図屏風 山中信天翁書画 / 長浜城歴史博物館蔵

山中信天翁 (1822～85)

三河国（愛知県）に生まれ京都に出て、勤王の志士と交わり、岩倉具視の知遇を得て、新政府に入り地方官として勤務した。

明治7年（1874）には「維新の功労者」として、長浜に迎えられ、いくつかの書画を残している。

北村李軒

坂田郡鳥羽上村（長浜市鳥羽上町）の生まれで、文化9年（1812）紀州華岡青洲（1760～1835）に入門し、先進的な医術（全身麻酔など）を学び、後に京都で四条円山派の松村景文に師事し絵画も学んだ。



寒山拾得図 北村李軒筆 / 長浜城歴史博物館蔵

展示説明会 6/14^土・6/21^土
13:30～14:30

会場 ▶ 長浜市曳山博物館 1階展示室
案内 ▶ 長浜市曳山博物館 学芸員 岩田滯奈
その他 ▶ 参加には入館料 600 円が必要です。

記念講演会 7/13^日 13:30～15:30

会場 ▶ 長浜市曳山博物館 伝承スタジオ
演題 ▶ 山中信天翁と幕末・維新の北近江
講師 ▶ 長浜市曳山博物館 館長 太田浩司
その他 ▶ 聴講には資料代 500 円が必要です。
(入館には別途 600 円必要です)